

単元名 『When is your birthday?』 (第5学年) 全7時間計画

単元のねらい

誕生日や好きなもの、欲しいものを言ったり尋ねたりして伝え合うことができる。

単元構想の意図

本単元では、つかむ過程で単元末の活動「相手に合ったバースデーカードを贈ろう」をSmall Talkを基に示し、「やってみたい」という児童の関心・意欲を高めます。追究する過程では、必要な表現に慣れ親しませるために、単元末の活動を意識しながら、音声を繰り返し聞かせたり友達とやり取りをさせたりします。まとめる過程では、単元を通して学んできたことを生かしたやり取りの場面を設定することで、何ができるようになったのかを自覚できるように構成しました。

過程

つかむ(1)

追究する

(5)

まとめる(1)

主な学習活動

1. 単元の課題を把握する

- 教師とALTによるSmall Talkを聞き、単元のめあてをつかみ、学習の見通しをもつ。

相手に合ったバースデーカードを贈ろう。

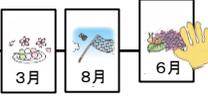
- 月名を聞き取る。

2. 単元の課題を追究する

- 月名を英語で言う。

【グループでカルタ遊び】

S 1 : March → S 2~4 : March
S 1 : August → S 2~4 : August
S 1 : June → S 2~4 : June (6月のカルタを取る)



- 世界の月ごとの行事の話聞き取る。
- 誕生日を尋ねたり答えたりする。

S 1 : When is your birthday ?
S 2 : My birthday is April 14th.
S 1 : It's spring.
S 2 : Yes.



- 相手に合ったバースデーカードにするために、好きなものを伝え合う。

S 1 : What color do you like ?
S 2 : I like orange.
S 1 : Oh, me too!



- 誕生日に欲しいものを伝え合う。

【メモリーゲーム】

S (全員) : What do you want for your birthday ?
S 1 : I want a dog.
S : You want a dog. Oh, that's nice.
What do you want for your birthday ?
S 2 : I want a cat.
S : You(S1) want a dog. You(S2) want a cat.
Oh, that's nice. (S 5まで続く)



- 「HAPPY BIRTHDAY」を写し書く。

3. 単元の課題についてまとめる

- 誕生日や好きなもの、欲しいものを尋ねたり答えたりして、バースデーカードを届ける。

カードを二つ折りにした状態の表面



- 単元を通じて、英語でどんなことができるようになったか振り返ったり、感想を出し合ったりする。

S 1 : 最初よりも誕生日をすぐに聞き取れるようになった。
S 2 : ALTにもバースデーカードを贈りたい。

単元の見通しをもたせる

Small Talkを基に単元のめあてを設定し、終末の自分の姿をイメージさせる。また、単元のめあてを達成するために、どんな学習をする必要があるか、児童から引き出し、学習の見通しをもたせる。

学ぶ必然性をもたせる

単元のめあての中に「相手に合った」を入れることで、単元を通して相手を意識させ、「好きなものや好きなこと」を尋ねたり答えたりする活動の必然性をもたせて追究する過程につなげる。

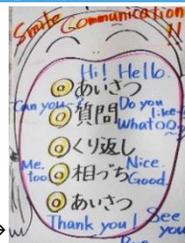
多様な活動を通し、新しい語句や表現を身に付けさせる

楽しみながら新しい語句や表現を身に付けさせるとともに、他者理解やコミュニケーション能力を高めることができるように、ゲームやインタビュー活動など、他者と関わりながら多様な活動に取り組ませる。

尚、活動を行う際には、音声を何度も聞かせ新しい語句や表現に十分に慣れ親しませてから、話す活動へとつなげていく。

他者に配慮した言語活動を意識させる

「やり取りのポイント」をゲームの中に意図的に入れたり、インタビュー活動など伝え合う活動の際に適宜右の掲示物を示したりすることで、より自然な会話に近付けるようにする。



〈「やり取りのポイント」

(質問・繰り返し・相づちや感想)の掲示) →

外国語を聞く機会を増やす

言語活動に取り組む際には、できるだけ日本語を介さず、イラストやジェスチャーを用いながらデモンストレーションで活動を示す。

四線上に正しく書かせる

音声で十分慣れ親しませた後、なぞり書きをしてから見本を見て書かせる。十分な時間を確保し、正しく書き写せるようにする。

単元の学びを自覚させる

学んできたことを生かす場面を設定し、単元を通じてできるようになったことを自覚させる。

満足感や達成感を全体で共有する

できるようになったことや感想などを全体で共有したり、教師からの称賛を与えたりすることで、今後の英語学習への意欲や期待を高める。

指導のポイント

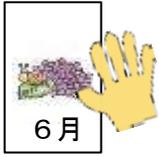
指導例：『When is your birthday?』
相手に合ったバースデーカードを贈ろう（第5学年 第1時）

1 あいさつ・Small Talk をする。
 ○児童がこれまでに学習してきた表現を使う。
 ○単元のめあてにつながる内容にする。
 T: My birthday is March 2nd. Look. This is my birthday card.
 I went to New Zealand when I was 17.
 My friend Brisa gave me this card.
 I was very happy.
 And I asked her,
 “When is your birthday?” “What color do you like?”
 “What character do you like?”
 “What do you want for your birthday?”
 She answered,
 “My birthday is June 10th.” “I like pink.” “I like DORAEMON.”
 “I want a basketball.”
 So I gave a birthday card to her on June 10th.
 “Happy birthday. This is for you. Here you are.”

2 単元のめあてをつかむ。
 ○Small Talk を基に、学習の見通しをもたせる。
 T: どんな内容を聞き取れたかな。
 S: 友達からバースデーカードをもらって、自分もあげたよ。
 T: みなさんは、バースデーカードをもらったことがありますか。
 S: もらったことがないからもらいたい。それに作ってみたいな。
 S: あげたら喜んでもらいたいな。
 単元のめあて 相手に合ったバースデーカードを贈ろう。

3 本時のめあてをつかむ。
 T: バースデーカードを贈り合うためにはどんなことを学ぶ必要がありますか。
 S: 誕生日を言えるようにする。
 ○めあてを提示する。
 めあて 月名を聞き取ろう。

4 本時の活動に取り組む。
 (1) チャンツ「Twelve Months」を歌う。
 ○画面をよく見て、音声をよく聞いて、はっきりとした声で繰り返し言わせる。
 (2) 月名カルタ遊びをする。
 ○できるだけ日本語を介さず、デモンストレーションでやり方を示す。
 1回目 ALT: March. S: March.
 2回目 ALT: August. S: August.
 3回目 ALT: June. S: June. (6月のカルタを取る)



5 本時のまとめ・振り返りをする。
 S: 月名が聞き取れた。〔言語面〕
 S: June と July が似ていて難しかった。9月から12月までは全部後ろにber が付いていたから間違えやすかった。〔言語面〕
 S: Aさんはたくさんカルタを取っていたので、月名がすぐに分かってすごいと思った。〔内容面〕

Small Talk で既習表現を復習し、本単元の見通しをもたせる

- 既習表現を使い、理解を促す。
- 意図的な既習表現の繰り返しで定着へとつなげる。
- 具体物等を提示することにより、興味・関心を高め、理解を促す。
- 本単元で学習する表現を使うことで、学習の見通しをもたせる。

児童からめあてを引き出す

- Small Talk の内容を基に単元のめあてを確認する。
- 単元のめあてを達成するには、どんな学習をしたらよいかを、児童から引き出すようにする。

多様な言語活動で新しい言語材料に慣れ親しませる

- リズムに乗せて繰り返し発話させることで月名に慣れ親しませる。
- 自分の誕生日を言うときに起立させることで、自分の誕生日を特に意識させる。
- 似ている月名に気付いた児童のつぶやきを大切にす。

新しい言語材料に触れる回数を徐々に増やす

- カルタ遊びでは、ALT の言った月名を繰り返して言い、3回目に言った月名を取るようにすることで、語句を聞く機会と発話量を増やす。

まとめと振り返りを工夫する

- めあてに沿って振り返りを行う。
- できたことやできなかったことを確認し、達成感や次時への目標をもたせる。
- よかった点を具体的に伝え、次時への意欲をもたせる。

指導例：『When is your birthday?』
相手に合ったバースデーカードを贈ろう（第5学年 第6時）

1 あいさつ・Small Talk をする。
○児童がこれまでに学習してきた表現を使う。
○本時のめあてにつながる内容にする。
T : When is your birthday?
ALT : My birthday is December 6th.
T : It's winter! What do you want for your birthday?
ALT : I want a ball.
T : You want a ball. That's nice. A soccer ball? A baseball?
ALT : I want a baseball.
T : Oh, I see. Do you like baseball?
ALT : Yes, I do.

2 本時のめあてをつかむ。
○Small Talk を基に、学習の見通しをもたせる。
T : どんな内容を聞き取れたかな。
S : 誕生日に欲しいものを聞いたり答えたりしていた。
T : バースデーカードを贈り合うための今日のめあては何ですか。
S : 誕生日に欲しいものを言ったり聞いたりする。
T : バースデーカードには今日聞いたものだけ描けばいいですか。
S : 「HAPPY BIRTHDAY」も書く。
○めあてを提示する。

めあて 誕生日に欲しいものを伝え合おう。
「HAPPY BIRTHDAY」をカードに書き写そう。

3 本時の活動に取り組む。
(1) メモリーゲームを行う。
S : What do you want for your birthday?
S1 : I want a dog. S : You want a dog. Oh, that's nice.
S : What do you want for your birthday?
S2 : I want a cat. S : You want a cat. Oh, that's nice.
S : You(S1) want a dog. You(S2) want a cat. Oh, that's nice.
○「やり取り」のポイントを意識させ、活動が活発になるようにする。
T : 質問と答えだけでなく、他にどんなやり取りがありましたか。
S : 繰り返してた。ナイスと言った。

(2) インタビューをする。
○「やり取り」のポイントを意識させ、活動が活発になるようにする。
S1 : What do you want for your birthday?
S2 : I want a soccer ball.
S1 : You want a soccer ball. Do you like soccer ?
S2 : Yes!
S1 : Me, too.

「やり取り」のポイント
① 繰り返し
② 質問
③ 相づち、感想

(3) HAPPY BIRTHDAY を書き写す。
T : 「H」はどの線からどの線までですか。
S : 1番上から3本目までだ。



↑カードを二つ折りにした状態の表面

4 本時のまとめ・振り返りをする。
S : 誕生日に欲しいものを伝え合うことができた。(言語面)
S : 「HAPPY BIRTHDAY」を書き写すことができた。(言語面)
S : 次はもっとすらすら上手に言えるようになりたい。(言語面)
S : Aさんの欲しいものが分かった。(内容面)

指導のポイント

既習表現の復習をしながら、
本時の見通しをもたせる

○既習表現を意図的に取り入れることで、既習表現の定着を図るとともに、「会話を続けたい」という意欲を引き出す。
○本時で学習する表現を使うことで、学習の見通しをもたせる。

児童からめあてを引き出す

○Small Talk の話を確認しながら本時のめあてを児童から引き出す。
○単元末の言語活動を意識させることで、本時の学習に対する必要感や意欲を高める。

やり取りのモデルを示す

○できるだけ日本語を介さず、デモンストレーションで活動を示す。
○目標とする「やり取り」に近い表現をリズムに乗せて繰り返し発話させることで、表現に慣れ親しませる。

より自然なやり取りを意識させる

○より自然なやり取りになるよう、既習表現や簡単な単語を使って、以下のことを促す。
①相手の言葉を繰り返す
②相手の答えに関連した質問をする
③相づちを打つ、感想を言う
○活動の途中で模範となる児童を見付け、モデルとして全体に示す。
(中間評価)

十分慣れ親しんだ表現を書かせる

○これまでに何度も聞いたり言ったりしてきた言葉について、十分な時間を確保し、四線上に正しく書くことができるようにする。

まとめと振り返りを工夫する

○めあてに沿って振り返りを行う。
○よかった点を具体的に伝え、次時への意欲をもたせる。

指導例：『When is your birthday?』
相手に合ったバースデーカードを贈ろう（第5学年 第7時）

1 あいさつ・Small Talk をする。
 ○児童がこれまでに学習してきた表現を使う。
 ○本時のめあてにつながる内容にする。

T : When is your birthday?
 S1 : My birthday is July 30th.
 T : This is not your card. I'm sorry. I don't have your card.
 S1 : It's Okay.
 T : When is your birthday?
 ALT : My birthday is December 6th.
 T : December 6th. Oh, This is your card.
 Here you are. Happy birthday!
 ALT : Thank you.
 T : (カードに描かれた絵を見て) Do you like baseball?
 ALT : Yes, I do.
 T : That's nice.

2 本時のめあてをつかむ。
 ○Small Talk をもとに、学習の見通しをもたせる。
 T : 何をしていましたか。
 S : バースデーカードを渡していた。
 T : バースデーカードのもらい手を探すには、何を質問すればよいでしょう。
 S : 誕生日や好きなもの、欲しいものを聞く。
 ○めあてを提示する。
 めあて 誕生日や好きなもの、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おう。

3 本時の活動に取り組む。
 (1) バースデーカードのもらい手を探し、届ける。
 ○バースデーカードを届ける側ともらう側で学級を二つに分け、もらい手が見付いたらペアになって座らせる。もらい手が限られてくることで、児童の負担感を減らす。
 ※会話例は上記 Small Talk に同じ。
 (2) バースデーカードをくれた人へ、お返しのパースデーカードを贈るためのインタビューをする。
 S1 : When is your birthday?
 S2 : My birthday is July 30th.
 S1 : July 30th. What character do you like?
 S2 : I like ○○.
 S1 : Game character?
 S2 : Yes.
 S1 : I see.
 (3) お返しのパースデーカードを作る。(ここでは作成のみ。後日渡す。)
 S : 「HAPPY BIRTHDAY」を間違えないように気を付けよう。

4 本時のまとめ・振り返りをする。
 S : 英語で誕生日や好きなもの、欲しいものを尋ねたり答えたりして、伝え合うことができた。(言語面)
 S : 最初よりも誕生日をすぐに聞き取れるようになった。(言語面)
 S : Aさんが○○が好きだということ、初めて知った。(内容面)
 S : 今度 ALT にバースデーカードを贈りたい。(内容面)

指導のポイント

Small Talk で既習表現を復習し、本時の見通しをもたせる
 ○既習表現を用いて理解を促す。
 ○本時のゴールの姿を提示することで、見通しをもたせる。

児童からめあてを引き出す
 ○Small Talk の話を確認しながら本時のめあてを児童から引き出す。

より自然なやり取りを意識させる
 ○できるだけ日本語を介さず、デモンストレーションで活動を示す。
 ○より自然なやり取りになるよう、既習表現や簡単な単語を使って、以下のことを促す。
 ①相手の言葉を繰り返す
 ②相手の答えに関連した質問をする
 ③相づちを打つ、感想を言う
 ○活動の途中で模範となる児童を見付け、モデルとして全体に示す。
 (中間評価)

相手意識をもたせる
 ○相手に合ったバースデーカードになるよう、既習表現や簡単な単語を使っていろいろな質問をするよう促す。

十分な時間を確保して書かせる
 ○四線を意識させて、丁寧に正しく書くことができるように促す。書くことにも相手意識をもたせる。

まとめと振り返りを工夫する
 ○本単元のねらいに沿った振り返りをする。
 ○できるようになったことを実感させ、達成感をもたせる。
 ○よかった点を具体的に伝え、今後の英語学習への意欲や期待を高める。

外国語科学習指導案

平成30年5月～6月 第5学年 指導者 三原田 智恵美

I 単元名 「When is your birthday?」

II 学習指導要領上の位置付け

第2章 外国語科の目標及び内容

第2節 英語

1 目標

(3) 話すこと〔やり取り〕

イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

2 内容

(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

ア 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

ウ 話すこと〔やり取り〕

(イ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動。

III 目 標

以下のア、イに示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、ウに示す資質・能力を育成する。

ア バースデーカードを贈り合う活動を通して、誕生日について聞いたり言ったりすることができる。また、「HAPPY BIRTHDAY」を書き写すことができる。(知識及び技能)

イ 誕生日や欲しいもの、好きなものなどを伝え合うことができる。

(思考、判断力、表現力等)

ウ 他者に配慮しながら、好みや欲しいもの、誕生日について意欲的に伝え合おうとしている。

(学びに向かう力、人間性等)

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開（1／7）

1 ねらい チャンツや月名カルタ遊びを通し、月名の言い方を聞き取ることができるようにする。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 あいさつ・Small Talkをする。（5分）	○児童がこれまでに学習してきた表現を使う。 ○単元のめあてにつながる内容にする。 ○具体物等を使って児童が理解しやすい工夫をする。		
2 単元のめあてをつかむ。（5分）	○Small Talkを基に、学習の見通しをもたせる。		
	単元のめあて 相手に合ったバースデーカードを贈ろう。		
	○相手を喜ばせるバースデーカードにするには、何を学んだらよいか考えさせる。		
3 本時のめあてをつかむ。（2分）	○本時のめあてを児童の発言を基に提示する。		
	めあて 月名を聞き取ろう。		
4 本時の活動に取り組む。（28分）			
(1) チャンツ「Twelve Months」を歌う。	○画面をよく見て、音声をよく聞いて、はっきりとした声で繰り返し言わせる。 ○自分の誕生月を言うときは起立させ、自分の誕生月を特に意識させる。		
(2) 月名カルタ遊びをする。	○カルタをとる前に繰り返し月名を聞いたり言ったりさせる。 ○3か月、4か月、6か月、12か月ごとに、段階を踏んで使用するカードの数を増やしていく。 ○個人活動で十分に慣れさせたのちペア活動に移る。 ○カードは表に日本語の月名（1月）、裏に月名と英語での頭文字（1月J）を書き、12か月でカルタをする際には裏を見て確認できる時間を設ける。		
	月名を英語で聞き取ることができる。＜行動観察・振り返りカード点検（3）＞		
5 本時のまとめ・振り返りをする。（5分）	○月名が聞き取れたかどうか問い掛ける。 ☆ 月名が聞き取れた。〔言語面〕 ☆ 自分の誕生月が聞き取れた。〔言語面〕 ☆ Aさんはたくさんカルタを取っていた。月名がすぐに分かってすごいと思った。		

〔内容面〕

V 本時の展開（6／7）

- ねらい メモリーゲームやインタビュー活動を通し、誕生日に欲しいものを伝え合うことができるようにする。バースデーカードに「HAPPY BIRTHDAY」を書き写す活動を通し、活字体の大文字を書き写すことができるようにする。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 あいさつ・Small Talkをする。（5分）	○児童がこれまでに学習してきた表現を使う。 ○単元のめあてにつながる内容にする。		
2 本時のめあてをつかむ。（2分）	○Small Talkを基に、学習の見通しをもたせる。		
めあて 誕生日に欲しいものを伝え合おう。 「HAPPY BIRTHDAY」をカードに書き写そう。			
3 本時の活動に取り組む。（33分）			
（1）発言をつなげていくメモリーゲームを行う。			
○できるだけ日本語を介さず、デモンストレーションで活動を示す。			
○聞き手に伝わる声の大きさを話そう促す。			
○繰り返しリズムに乗せて発話するよう促す。			
（2）インタビューをする。			
○相手から言葉が出てこない場合には助け合い、補い合うよう促す。			
○話し手に配慮しながら、うなずきや相づちを打つなど反応するよう促す。			
○手本となる児童を見付け、活動の途中にモデルとして全体に示す。（中間評価）			
誕生日に欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 ＜行動観察・振り返りカード点検（2）＞			
（3）HAPPY BIRTHDAYを書き写す。			
○十分な時間を確保し、四線上に正しく書くことができるようにする。			
活字体の大文字を書くことができる。＜行動観察・振り返りカード（2）＞			
4 本時のまとめ・振り返りをする。（5分）			
○誕生日に欲しいものを伝え合うことができたか問う。			
☆ 誕生日に欲しいものを伝え合うことができた。〔言語面〕			
☆ 「HAPPY BIRTHDAY」を書き写すことができた。〔言語面〕			
☆ Aさんの欲しいものが分かった。〔内容面〕			

V 本時の展開（7/7）

- 1 ねらい バースデーカードのもらい手を探す活動やお返しのバースデーカードを作る活動を通して、誕生日や好きなもの、欲しいものを伝え合うことができるようにする。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 あいさつ・Small Talkをする。（5分）	○児童がこれまでに学習してきた表現を使う。 ○単元のめあてにつながる内容にする。		
2 本時のめあてをつかむ。（3分）	○バースデーカードのもらい手を探すには、何を質問すればよいか問うことで、児童からめあてを引き出す。		
めあて 誕生日や好きなもの、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おう。			
3 本時の活動に取り組む。（30分）			
(1) バースデーカードのもらい手を探し、届ける。	○届ける相手を間違えないようにするために、誕生日だけでなく、好きなものなども質問するよう促す。 ○やり取りのポイントを意識して取り組むよう促す。		
		「やり取り」のポイント ① くり返し (December 6th.) ② 質問 (Do you like baseball?) ③ 相づちや感想 (That's nice.)	
(2) バースデーカードをくれた人に、お返しのバースデーカードを贈るためのインタビューをする。	○相手から言葉が出てこない場合には助け合い、補い合うよう促す。 ○やり取りのポイントを意識して取り組むよう促す。		
誕生日や好きなもの、欲しいものを言ったり尋ねたりして伝え合うことができる。 <行動観察・振り返りカード点検（1）（2）>			
(3) お返しのバースデーカードを作る。（ここでは作成のみ。後日渡す。）	○相手の喜ぶカードを作るよう促す。 ○「HAPPY BIRTHDAY」は四線を意識して丁寧に書くよう促す。		
4 本時のまとめ・振り返りをする。（5分）	○誕生日や好きなもの、欲しいものを尋ねたり答えたりして、伝え合うことができたか問い掛ける。		
☆ 英語で誕生日や好きなもの、欲しいものを尋ねたり答えたりして、伝え合うことができた。 [言語面]			
☆ Aさんが〇〇が好きだということを初めて知った。 [内容面]			

指導計画 外国語科 第5学年 単元名「When is your birthday?」(全7時間計画)

目標	以下のア、イに示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、ウに示す資質・能力を育成する。 ア バースデーカードを贈り合う活動を通して、誕生日について聞いたり言ったりすることができる。また、「HAPPY BIRTHDAY」を書き写すことができる。(知識及び技能) イ 誕生日や欲しいもの、好きなものなどを伝え合うことができる。(思考力、判断力、表現力等) ウ 他者に配慮しながら、好みや欲しいもの、誕生日について意欲的に伝え合おうとしている。(学びに向かう力、人間性等)			
評価規準	(1) 他者に配慮しながら、好みや欲しいもの、誕生日について意欲的に伝え合っている。(コミュニケーションに対する関心・意欲・態度) (2) バースデーカードを贈り合う活動を通して、誕生日や好み、欲しいものについて、伝え合うことができる。また、「HAPPY BIRTHDAY」を書き写すことができる。(表現の能力) (3) 月名や誕生日、相手の好きなもの、欲しいもの等を聞き取ることができる。(理解の能力) (4) バースデーカードを贈るために必要な表現を理解している。(言語や文化に関する知識・理解)			
過程	時間	○ねらい めあて	☆振り返り(意識)	◇評価項目 <方法(観点)>
つかむ	1	◎Small Talkを通して、単元のめあて「相手に合ったバースデーカードを贈ろう」を示す。 ○チャンツや月名カルタ遊びを通し、月名の言い方を聞き取ることができるようにする。 月名を聞き取ろう。	☆月名が聞き取れた。 ☆自分の誕生日月が聞き取れた。 ☆Aさんはたくさんカルタを取っていた。月名がすぐに分かってすごいと思った。	◇月名を英語で聞き取ることができる。<行動観察・振り返りカード点検(3)>
追究する	2	○チャンツに取り組み、リズムに合わせて誕生日の尋ね方や答え方を聞いたりまねたりするとともに、カルタ遊びやポインティングゲームで月名や日付を聞く活動を通して、月名を言うことができるようにする。 月名を英語で言おう。	☆月名を英語で言えるようになった。	◇月名を言うことができる。<行動観察・振り返りカード点検(4)>
	3	○まとまりのある話を聞く活動において、児童一人一人が聞き取った単語を出し合い、共有することを通して、話の概要をつかむことができるようにする。 世界の月ごとの行事の話を取り取ろう。	☆いろいろな国の月ごとの行事を聞き取ることができた。	◇まとまりのある話を聞き取ることができた。<行動観察・振り返りカード点検(3)>
	4	○リズムに合わせて月名や日付を言ったり、バースデーチェーンを作ったりする活動を通して、誕生日を尋ねたり答えたりできるようにする。 誕生日を尋ねたり答えたりしよう。	☆誕生日を尋ねたり答えたりすることができた。	◇誕生日を尋ねたり答えたりすることができる。<行動観察・振り返りカード点検(2)(4)>
	5	○ステレオゲームやインタビュー活動を通して、好きなものを伝え合うことができるようにする。 好きなものを伝え合おう。	☆好きなものを伝え合うことができた。	◇好きなものなどを伝え合うことができる。<行動観察・振り返りカード(2)>
	6	○メモリーゲームやインタビュー活動を通し、誕生日に欲しいものを伝え合うことができるようにする。 ○バースデーカードに「HAPPY BIRTHDAY」を書き写す活動を通し、活字体の大文字を書き写すことができるようにする。 誕生日に欲しいものを伝え合おう。 「HAPPY BIRTHDAY」をカードに書き写そう。	☆誕生日に欲しいものを伝え合うことができた。 ☆「HAPPY BIRTHDAY」を書き写すことができた。 ☆Aさんの欲しいものが分かった。	◇誕生日に欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。<行動観察・振り返りカード点検(2)> ◇活字体の大文字を書くことができる。<行動観察・振り返りカード(2)>

<p>まとめ</p>	<p>7</p>	<p>○バースデーカードのもらい手を探す活動やお返しのバースデーカードを作る活動を通し、誕生日や好きなもの、欲しいものを伝え合うことができるようにする。</p> <div data-bbox="338 343 888 452" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>誕生日や好きなもの、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合おう。</p> </div>	<p>☆英語で誕生日や好きなもの、欲しいものを尋ねたり答えたりして、伝え合うことができた。 ☆Aさんが〇〇が好きだということを知った。</p>	<p>◇誕生日や好きなもの、欲しいものを言ったり尋ねたりして伝え合うことができる。〈行動観察・振り返りカード点検(1)(2)〉</p>
------------	----------	--	---	---